

令和3年度「ダンボールコンポスト・メイト」懇話会

1. 日 時 令和3年11月22日(月) 14:00～15:30
2. 場 所 函館市中央図書館 2階大研修室
3. 出席者
 - (1) ダンボールコンポスト・メイト 23名
 - (2) 講師兼アドバイザー
はこだて魚の会 柿崎 陽子
 - (3) 函館市環境部環境推進課 4名
4. 要 旨
 - (1) 函館市からの説明(配布資料に沿って説明)
 - ・生ごみの減量対策
 - ・令和3年度 ダンボールコンポスト・メイトの生ごみ投入量(11月現在)
 - (2) ダンボールコンポスト・メイトさんからの感想
 - ・良かったこと
ごみの減量ができて良かった。
野菜作りをしているので、自分で堆肥を作れることが良かった。
身近にある物で堆肥作りができて良かった。
 - ・困ったこと
水分が多くてダンボールの底がぶよぶよになった。
臭いが気になった。
臭いが気になるので野菜だけ入れたら温度が上がらなかった。
廃油を入れたが温度が上がらなかった。
小ばえが発生した。
四隅や底の部分をかき混ぜるのが大変だった。
 - ・堆肥づくりのこつ
入れる生ごみを細かく切ること。
水分が多い時は基材を加えた。
臭が発生したときは、茶がらやコーヒーかすを入れた。
虫が発生したときは廃油を入れた。
みかん等の皮を干してダンボールに入れたら虫が発生しなかった。
生ごみを入れるたびにかき混ぜること。
ゴム手袋をはいて四隅もしっかりかき混ぜること。
 - ・その他
生ごみの投入量に関係なく3ヵ月で終了すると思っていた。
 - (3) 柿崎講師からのアドバイス
 - ・皆さんにお渡ししている20Lの基材で、1日の生ごみの投入量が500gから600gを目安として3ヵ月で終了となっていますので、投入する量が少なければ3ヵ月以上続けてください。
 - ・小ばえや悪臭の発生は水分が多い、温度が低い等が原因になっているので、水分が多い、温度が低い場合はピートモスを調整しながら入れてください。
臭いが気になる時はもみ殻くんたんを一握り入れてみてください。
 - ・温度については、15℃以上あるとゆっくりと生ごみが分解していきますので良くかき混ぜて続けてください。

5. 懇話会の様子

懇話会の開催の挨拶（小園課長，柿崎講師）後会が進められました。



ダンボールコンポスト・メイトさんからの堆肥づくりの経験談が話し合われ、困ったこと等のアドバイスを柿崎講師からいただきました。



柿崎講師のご自宅で作成中の堆肥と完成した堆肥その堆肥を使って育てたパプリカを持ってきていただきました。

